

おごせ 教育 Pick Up



越生小学校

越生小学校では、年間を通じて毎週木曜日の朝に「おはよう運動」を展開しています。1・2月は『長縄』です。例年は長縄大会を実施していますが、今年度はコロナ禍の影響を受け、記録会という形で8の字跳びの練習に取り組み、記録に挑戦しました。

梅園小学校

先日の児童朝会では、6年生が「いじめゼロ集会」で劇を行いました。児童の言動や行動が原因で起きるいじめの場面を演じ、全校児童に問題提起しました。朝会終了後は各クラスに戻り、6年生が演じた場面について、どうすればいじめを防げるのかなど、みんなで考えました。



おごせっ子広場

町内の小中学校や町の行事等に参加する子供たちを写真で紹介するコーナーです。



越生中学校

1月28日に1年生が企業講演会を行いました。丸美屋食品株式会社様にご協力いただき、感染症予防のため、学校と都内の会社をオンラインでつないで実施しました。生徒たちは、真剣に講演を聞き、積極的に質問など行っていました。

昨年の初めに起こったコロナの流行は、新年が明けた現在も益々感染拡大の方向にあります。清和学園高等学校も他の高校と同様、この1年はコロナ禍での対応に追われる日々でした。日々の検温や手指の消毒の指導、特に四月に出された緊急事態宣言下では、授業代替の印刷物の送付や授業動画の配信など、できうる限りのことに取り組みました。学校行事も中止や延期が相次ぎ、生徒の学校生活に暗い影を落としました。しかしそんな中、県内の高校生から作品が寄



清和学園高等学校



せられる「県高校美術展」で、美術部に所属する、普通科平日コース3年生護守菜月さんの作品『分解』が埼玉芸術文化祭実行委員会会長賞に選ばれました。これまで生徒一人ひとりの個性を大切に、指導にあたることを第一としてきた本校にとつては、とても喜ばしい、嬉しい出来事となりました。今後とも、地域に信頼される学校を目指していきたいと思っています。

越生浪漫

No. 145

左官職・田島徳三郎



上野の虚空蔵様の狛虎（昭和4年建立）

丑寅生まれの人の守り本尊である上野の虚空蔵尊は、昭和48年癸丑、お堂下の旧万蔵寺の屋根裏から小判や古銭が発見され、世間を賑わせました。石段を登り切った左右には狛犬ならぬ「狛牛」と「狛虎」が昭和4年（1929）に奉納されています。狛虎の台座部分に刻まれ

た発起人の一人に田島徳三郎の名が見えます。田島徳三郎は、江戸末期から明治時代に活躍した入江長八の孫弟子と伝えられる、越生町本町の左官職で、この鉄筋コンクリート造の狛牛・狛虎を制作した人物です。入江長八は、鏝で漆喰を立体的に盛り上げ模様を描き彩色する「鏝絵」の技法を完成させた人物で、「伊豆の長八」として名を馳せ、各地で作品を制作し弟子を取りました。長八が江戸で育てた弟子の弟子に当たるのが、田島徳三郎であると言われています。明治から昭和にかけて徳三郎が町内に遺した作品の一部を紹介します。



左：閻魔堂内壁の鏝絵



右：制作年月日、制作者が記された扁額

が置かれた外陣の内壁上部に、一部が赤・黒・金色で彩色された白漆喰の天女や獅子などの鏝絵が目に入ります。「明治二十二年（1889）十月吉日納／埼玉縣



左：法恩寺本堂「天女」の鏝絵



右：六地藏（裏に「越生本町 田島徳三郎 工作」と刻まれている）

入間郡越生町大字越生／左官職／田島徳三郎」の銘が記されている扁額が遺されており、閻魔堂建築の際に手掛けたことが分かります。また落款を模した「漆喰細



黒岩の五大尊の三鈷剣（明治37年（推定）建立）

工／左徳」の号が署されています。法恩寺 左徳は本堂の玄関向拝の鶴と亀、内壁の天女や蓮の花で鏝絵の腕を振るつていきます。境内の「聖徳太子宝塔」や関東大震災犠牲者供養の「地藏菩薩」、墓地の六地藏も徳三郎の作品です。墓地入口に空高くそびえ立つイチヨウの根元には、明治45年に田島徳三郎が寄付した時のセメント製の銘板が据えられています。 五大尊 本堂前には、不動明王が持つ降魔の剣、コンクリート製の「三鈷剣」を建てています。明治37年の日露戦争戦捷記念の奉納と推測されます。